

## 地域自慢

動物いっぱい 花いっぱい  
歌声いっぱい 夢いっぱい  
みんな大好き 古河一小

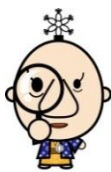
## 歴史に息づく好学の気風

### こが 古河っこたちの 「わたしのまち自慢」

## 古河第一小学校



【古河城出城跡に建つ校舎】



古河市の渡良瀬川河川敷には、かつて東西500m、南北1800mにおよぶ、関東最大規模の城郭「古河城」がありました。いまでも旧城下町の風情を残す町並みや寺社が、まちのあちらこちらにのこっています。古河第一小学校では、総合的な学習の時間をつかって、「ふるさと古河の再発見」のテーマのもと、古河のすてきについて調べています。

### 3年生「わたしのまちじまん」

よく遊ぶ場所、お気に入りの場所、お店やお寺…。古河のすてきを探しにまち探検にでかけました。



#### ○福法寺

学校の東にあるお寺で山門は、もと古河城の

門だったものを移築したそうです。(古河城乾門) 福法寺のご住職の石川さん、古河史楽会の山田さんをゲストティーチャーにお招きして、古河城のお話を聞きました。

#### ○鷹見泉石(たかみせんせき) 生誕の地碑・記念館

蘭学者、鷹見泉石は家老として譜代大名土井家に仕えた古河藩士です。記念館は、古河城の余材を使って建てられたと伝えられています。土井利位(どいとしつら)は「雪の殿さま」と呼ばれ、雪の結晶の研究をしました。古河地区の学校の校章には雪の華が「ルツ」されています。【一小の校章】



### 5年生「古河のすてきを調べよう」

### 6年生「見つめよう日本の文化」

高学年は、「古河」に関するテーマを各自が設定し、歴史、まつりや伝統行事ゆかりのある人物等調べ学習をします。実際に、歴史博物館や篆刻美術館を訪れたり、6年生は卒業制作として篆刻体験を行ったりしました。



### 4年生「わたらせ水辺の楽校」

わたらせ遊水池にでかけ、生き物を調べたり、水質調査をしたりしました。

また、毎年渡良瀬川の河川敷で行われる持久走大会は、古河城本丸跡を走ります。写真後ろに見えるのは新三国橋で「許我(こが)かるた」に詠まれている三国橋とは、下総国(茨城県)、下野国(栃木県)武蔵国(埼玉県)の三国を跨ぐことから命名されました。



### 「提灯竿もみまつり」

毎年12月に行われるこのおまつりに、一小的児童も参加しています。自分たちで作った提灯を高さ20mもの



竹竿の先に付け、揉み合って相手の提灯の灯を消したら勝ちです。

「許我かるた」には古河のすてきがたくさん詠まれています。



一小的の古河っこたちは、1月にかかるた取りをして、ふるさと古河の歴史にふれています。



### 一小平たいど

まとめ \*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

まちのたくさんの方からお話を聞いたり実際に外へ出て行って体験したり、古河の魅力を体いっぱい感じています。みんなふるさと古河を誇りに思っています。